

「白神ねぎ」の生産拡大を柱に

農家の所得増大を図る

JAあきた白神は、平成24年度に白神ねぎ10億円販売達成プロジェクトチームを発足。26年度から行政と連携して「園芸メガ団地」の整備に着手しました。同JAが事業主体となり3年間で露地13ヘクタールとパイハウス12棟を整備しました。「園芸メガ団地」が増産の軸になり、主力の水稲との経営複合化で収入源を増やしながら、機械化や大規模化による若手の通年雇用ができる環境も整いました。



本格的な生産が始まった27年度は、栽培面積126ヘクタールで販売額11億708万円。販売額10億円を初めて突破しました。翌28年度は栽培面積130ヘクタールで販売額13億2100万円。29年度は栽培面積は138ヘクタールに増え、販売額は11月中旬に28年度より3日早く10億円に達しています。

労働力不足解消を支援

また、県内のJAとしては初めての無料職業紹介所を開設しました。

高齢化などで労働力不足に悩む農家に対して管内外から農作業を支援できる求職者を紹介。主力品目の白神ねぎなどの面積

拡大を目指す農家を支援します。休耕地を引き受けた法人が社員として3名雇い入れるなど事例は増えています。

